

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復基礎Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期 木 1限目	教室名	304
担 当 教 員	丸山 顕嘉	実務経験と その関連資格	柔道整復師資格取得後、施術勤務。 柔道整復師専科教員資格		

《授業科目における学習内容》

上肢の損傷はスポーツ傷害に発生する事が多く、特に肘関節周囲の損傷は野球・テニスなど多くの傷害がみられます。その疾患を知ることにより、柔道整復師として、適切な整復法、固定法、後療法を施術することができるようになる。また、運動器を理解するためには、機能解剖を学ぶことが必須である。関節の構造と機能を理解することで、自ら思考する力を身につけます。

《成績評価の方法と基準》

定期試験 100%にて評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書

- ・「柔道整復学・理論編 改訂第6版」 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂
  - ・「柔道整復学・実技編 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂
- 参考書 ・「カラー写真で学ぶ 骨・関節の機能解剖」 医歯薬出版

《授業外における学習方法》

- ・予習は、次回授業に該当する範囲を必ず一読し、授業に望むようにして下さい。
- ・復習は、授業でやった内容のノートを確認し、次回の授業に望むようにしてください。

《履修に当たっての留意点》

欠席をしてしまうと、休んだ回の内容が完全に無い形で進んでしまうため、欠席が無いように心がけてください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	上腕部の損傷について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
	各コマにおける授業予定	上腕骨骨幹部骨折		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の機能解剖が理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
	各コマにおける授業予定	肘関節周囲の機能解剖 骨・筋肉		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の機能解剖が理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
	各コマにおける授業予定	肘関節周囲の機能解剖 関節・靭帯		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	上腕骨近位端部の骨折について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
	各コマにおける授業予定	上腕骨遠位部の骨折 顆部骨折		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	上腕骨近位端部の骨折について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
	各コマにおける授業予定	上腕骨遠位部の骨折 遠位部骨折		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕骨近位端部の骨折について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	上腕骨遠位部の骨折 小頭・滑車等		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕骨近位部の骨折について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	前腕骨近位部の骨折 尺骨骨折		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕骨近位部の骨折について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	前腕骨近位部の骨折 橈骨骨折		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の脱臼について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	肘関節の脱臼 前方・後方脱臼		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の脱臼について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	肘関節の脱臼 開排脱臼		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の軟部組織損傷について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の軟部組織損傷 内側側副靭帯損傷		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の軟部組織損傷について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の軟部組織損傷 外側側副靭帯損傷		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節周囲の軟部組織損傷について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の軟部組織損傷 スポーツ障害		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の肘関節周囲の疾患について理解できるようになる。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	その他の疾患		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	今までの授業について、確認することが出来る。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	予習:授業範囲の一読 復習:授業ノートの復習
		各コマにおける授業予定	授業のまとめ、確認試験		